

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金													令和02年01月28日			
計画の名称	泉大津市下水道社会資本整備計画（その２）（防災・安全）															
計画の期間	令和０２年度 ～ 令和０６年度（５年間）										重点配分対象の該当					
交付対象	泉大津市															
計画の目標	持続可能な下水道事業の実現を目的に、公共下水道施設を計画的かつ効率的に管理するため、ストックマネジメント計画に基づき老朽化対策を行っていく。															
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		395	A	395	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	老朽管渠の調査率を0%(R2当初)から100%(R6末)に増加させる。			
	老朽管渠の調査率	0%	50%	100%
	老朽管渠の調査率＝調査済み老朽管渠の延長（km）／計画期間内調査予定老朽管渠の延長（km）			
2	汐見ポンプ場の更新計画1項目を完了させる。			
	ストックマネジメント計画対策事業実施率	0%	100%	100%
	ストックマネジメント計画対策事業実施率＝実施項目（項目）／計画期間内実施予定項目（項目）			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-

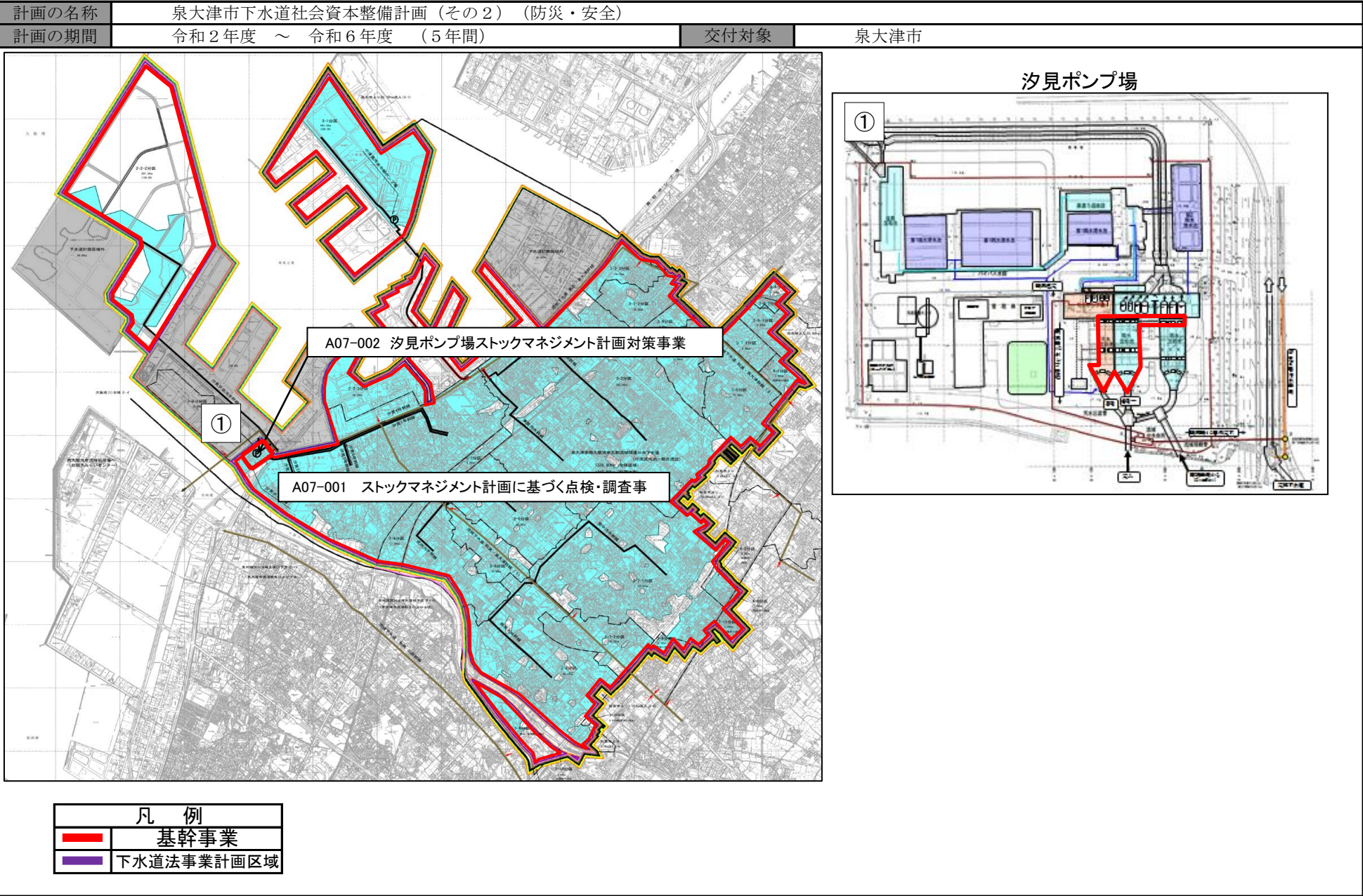
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	-	改築	ストックマネジメント計画に基づく点検・調査事業	点検・調査	泉大津市		■	■	■	■	95	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	ポンプ 場	改築	汐見ポンプ場 ストック マネジメント計画対策事 業	改築工事	泉大津市	■	■				300	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
											小計						395		
											合計						395		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	50				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	50				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	24				
翌年度繰越額 (f)	26				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： 泉大津市下水道社会資本整備計画（その２）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 事業計画との適合等 1) 事業の目標が事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 事業計画との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて事業の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 事業の必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 事業に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○